

◆2020年 中学入試算数 講評【麻布】

麻布は例年、工夫して解けば計算の負担がそこまで大きすぎず、思考力を問う良い問題が揃っています。今年も、本質的な理解を問う良問が例年通り出題されました。

大問1 計算問題

大問2 扇形の分割

分割した部分の和や差を求める問題はよくありますが、ほとんどの受験生が同じ問題を見たことがないでしょう。シンプルながら斬新な設定です。

大問3 場合の数

同校でよく出題される、素直な「場合の数」の問題です。

大問4 食塩水

よくある二つの容器の食塩水を混ぜる問題に、嘘のラベル表示という設定が加わった問題です。一見ひねった問題ですが、わかることを前提に試行錯誤が求められる、面白い問題です。

大問5 図形の通過領域

対称性をうまく利用する必要がありますが、計算の負荷が少なく解けるよう、パズルのような出題がなされており、見事な問題です。

大問6 動く点 整数

状況をうまく解釈して、整数問題に変換する必要があります。

後半は、8の字の動きを解釈するという意味で、斬新かつ最高水準の問題です。